

令和6年2月16日

保護者 様

瀬戸内市立邑久中学校

校長 松田 典久

## 令和5年度 学校評価アンケートの結果について（お知らせ）

余寒の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育推進のために格別のご支援を賜り感謝いたしております。

さて、昨年末にご協力をお願いしました「学校評価等アンケート」の結果のとりまとめができましたので、次のとおりご報告いたします。

### 記

本年度は学校教育目標「未来へ。誠実に人生を生き抜く人」に基づき、指導の重点を「将来自立した社会人となるための力(\*1)の育成」としました。そして、その力を身につけるために、次の3項目(\*2)を学校経営の重点（力のいれどころ）として取り組んできました。

(\*1)自分で考える力・自分で決める力・自ら実行する力・自他共に受け入れる力

(\*2) ①健やかで活力ある学校生活 ②確かな学力 ③特別支援教育の充実

また、生徒も教員も笑顔で元気な学校にするために、～日本1のための「邑」プラン～として次の5点に力を入れてきました。

- 笑顔の挨拶
- 校歌が響く学校
- 夢を持ち、努力する生徒
- 自分を大切に他人を大切にできる生徒
- 生徒主体の活動

#### 1 アンケート結果について

保護者用、生徒用ともに、集計結果はホームページに掲載させていただきますので、そちらをご覧ください。



(QRコード)

#### 2 学校経営に関わる3つの重点について

##### (1) 重点1「健やかで活力ある学校生活」について

- ① アンケート結果から「体育会や邑輝祭や宿泊行事に熱心に取り組んでいる【充実している】」（保護者:91%、生徒:91%）と高い肯定率を示しています。また、「居心地のよい学校（学級）づくりをしている【居心地のよい学校（学級）である】」（保護者:83%、生徒:81%）と高い肯定率を示しており、特に保護者においては昨年度より13%向上しています。今後、さらに向上できるように取組を推進していきます。
- ② 「学級活動や生徒会活動に熱心に取り組んでいる【積極的に参加している】」は、生徒の主体的な活動が保護者にも浸透し、昨年よりも高い肯定率（79%）となっている一方、生徒については昨年より7%下がっています。これまでの校則改定の経緯をきちんと伝え、それを支えてきた主体的な活動を充実させることにより、一人一人が考えて行動できる力を育てて行きます。
- ③ 地域と連携した学校づくりについては、「学校は、学校・学年・学級の様子を各種通信やホームページ等でしっかり発信している」（保護者:86%）と、昨年同様高い肯定率を示して

います。学年通信はほぼ毎月発行され、ホームページはほぼ毎日更新されています。

## (2) 重点2「確かな学力」について

- ① アンケート結果から、「授業中、自分で考えたり、表現したりする活動に意欲的に取り組んでいる」については78%と高い水準です。日頃の授業改善への取組と合わせてGIGA端末の活用が、「主体的・対話的で深い学び」の場面を多く作り出し、受け身ではなく、自分から発信できる生徒が増えています。
- ② 「家庭で計画的に1時間以上学習（自主学習等）することができている」の生徒の肯定率は59%、保護者は40%でした。今年度は自主学習ノート「Step Up」を改訂し、1週間の見通しを持って時間の使い方を考える計画力を育て、生徒が家庭学習に取り組みやすくする指導を始めました。ご家庭でもお子様にお声がけいただき、学校と協力して計画的で自主的な家庭学習の習慣を育てていきたいと考えています。
- ③ 「道徳の授業を通して、自分の見方・考え方が深まったり広がったりした」生徒の肯定率は昨年同様87%と高い水準でした。毎週学年全体で教材研究をし、担任以外も授業を行うなど、指導を充実させてきた成果であると考えます。今後も、日常生活の中のあらゆる機会を通して、道徳教育を深めていきます。

## (3) 重点3「特別支援教育の充実」について

- ① 「学校は【先生は】生徒の悩みや心配事に対して親身に相談にのってくれる」（保護者:81%、生徒:84%）と高い肯定率でした。特に保護者については昨年より22%高い数値となっており、一つ一つの問題に丁寧に対処してきた結果であると受け止めています。今後ご家庭との協力を大切にしながら生徒を支えていきます。
- ② 「学校は【先生は】生徒の考えをよく聞き、人権や人格を十分尊重している」の生徒の肯定率は87%でした。保護者については82%で昨年より17%向上しています。学校全体で研修を重ねてきた成果であると考えますが、生徒がより安心な学校生活を送れるよう、また、保護者の皆様の信頼をさらに高められるよう努力していきます。
- ③ 「学校は【先生は】一人一人に合った支援をしてくれる」については生徒の肯定率は88%、保護者は76%で、保護者については昨年より11%向上しています。各学年とも、休憩時間を含めて切れ目の無い見守りの体制をとったり、個々のケースに合わせて外部機関を含めた連携を図ってきたりした成果であると考えます。

## 3 その他

- (1) 「家庭でスマホ・テレビ・インターネット等のルールを決めている」（保護者:68%、生徒:65%）は肯定率が低く、学校では引き続き学級活動や道徳、技術の時間等に情報モラル教育を行っています。また、来年度も保護者対象のスマホ・SNSの研修会を開き、家庭と連携した取組を進めていきたいと考えます。
- (2) 「学校は部活動を熱心に指導している【部活動に一生懸命取り組んでいる】」については保護者の肯定率は71%で昨年より3%向上していますが、生徒については77%で8%低い数値になっています。生徒にとっては朝練も無くなって、活動時間が減ったのは事実です。現在は部活動の地域移行へ向けた過渡期ではありますが、限られた時間の中で活動を充実させていきたいと考えています。

## 4 おわりに

たいへんお忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒や保護者の皆様が日頃感じられていた思いやご意見の一つ一つを真摯に受け止め、生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう最善をつくしていきたいと思っております。

今後ともご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。